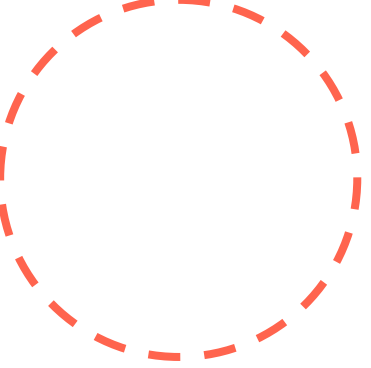


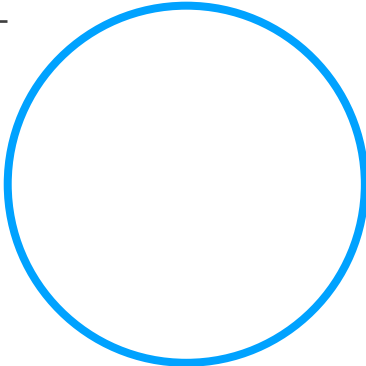
初任者研修の構造を知る②

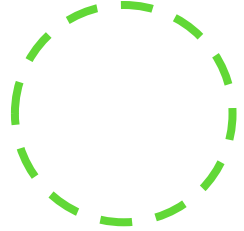
ニーズ整理の目的と方法

(ニーズ整理演習の導入)

令和7年9月5日 10:10～10:45

支援センターぐるぐる 泉 伸也



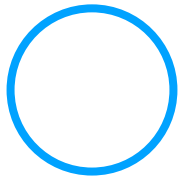


配布資料の説明

- 初任者研修で使用する資料をから抜粋し、本日の資料を作成しております。
- 初任者研修（演習時）シラバスと資料及び研修テキストより、重要な演習ポイントを抜粋します。



参考資料

- 資料右上に  ←このマークが記載された頁は、時間の都合上説明しません。
しかし、演習の流れでは重要であり、「研修ワーキング会議」などで確認をお願いします。
- 

【復習】 相談支援の目的

相談支援の目的

- ① 本人のその人らしい地域での暮らし
 - 1) 障害者の地域生活支援
 - 2) 障害者の自立と尊厳の確保、社会参加
 - 3) 自己決定(意思決定)への支援・権利擁護、エンパワメント、リカバリー
 - ② 障害のある人を含めた誰もが暮らすことのできる地域づくり
- = 地域を基盤とするソーシャルワーク

ケアマネジメント手法においても変わらない。

【復習】相談支援の基本的視点

相談支援の基本的視点：

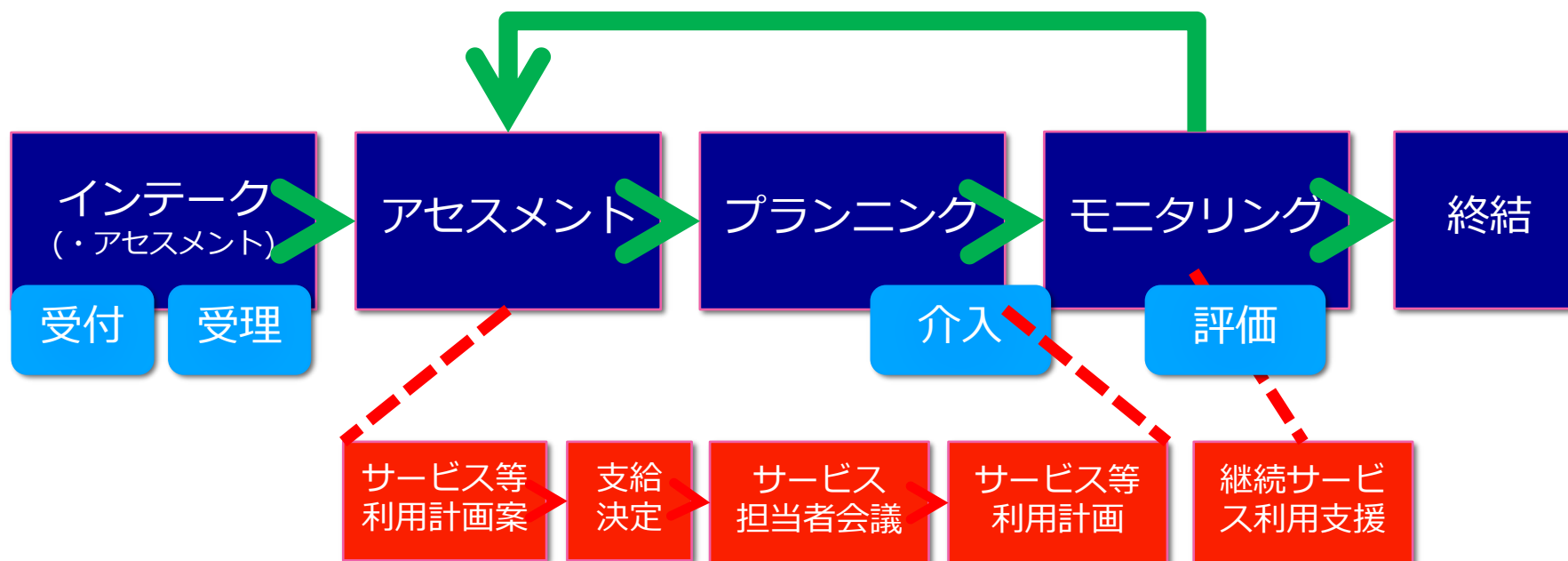
- ① 個別性の重視
- ② 生活者視点、QOLの重視
- ③ 本人主体、本人中心
- ④ 自己決定(意思決定)への支援
- ⑤ エンパワメントの視点、ストレングスへの着目
- ⑥ 権利擁護(アドボカシー)、スティグマ
- ⑦ 地域の多様な資源へのアクセスと活用、資源開発
- ⑧ チームアプローチ、多職種連携

ケアマネジメント手法においても変わらない。

ケアマネジメントプロセス

サービス等利用計画作成事務の流れ

支援過程の可視化



アセスメントの復習

復習 アセスメント

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

本人の夢・希望の実現や課題の解決に向け、必要な根拠（情報）をおさえ、整理する。

- ・ 本人像（人となり）
- ・ 本人の夢・希望、解決したい課題。
- ・ それに向けて必要な状況把握
（本人や環境に関する多角的・総合的な情報）

- （1）情報の収集
- （2）情報の整理、分析（二ーズ整理）

【三二講義】 ニーズ整理について



復習 アセスメント

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

本人の夢・希望の実現や課題の解決に向け、必要な根拠（情報）をおさえ、整理する。

- ・ 本人像（人となり）
- ・ 本人の夢・希望、解決したい課題。
- ・ それに向けて必要な状況把握
（本人や環境に関する多角的・総合的な情報）

- （1）情報の収集
- （2）情報の整理、分析（二ーズ整理）

復習 アセスメント

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術



インタビュー

情報の収集

アセスメント

ニーズの整理
(情報の分析)

広義のアセスメント

復習 アセスメントの留意点①

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

(1) 情報の収集

- ・面接技術（場面構成）と大きく関係する。
- ・生活者視点、本人中心、ストレングスなどの基本的視点を意識し、表出された言葉や選好の意味や背景を探る問いを多様に用意する。
- ・多様な手段や情報源：
 - 面接（言語・非言語）、経験の共有（見学、同行、体験等）、周囲からの情報収集など
 - 本人の言葉の背景・真意を理解する。
 - その前提となる本人像を多角的に捉える。

復習 アセスメントの留意点②

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

(1) 情報の収集 (続き)

- ・多角的・総合的に その視点例(ケアガイドライン)
→ 視点に基づいた整理票(アセスメント票)

※網羅的に票を埋めることがアセスメントではない。

※あまりに空白が多くても困るが、埋まっていないからダメ、ではない。

復習 アセスメントの留意点③

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

(1) 情報の収集 (続き)

- ・ 特に留意すべき、その基盤となる価値

【本人中心、生活者視点】

【エンパワメント、ストレングス】

- ・ 障害・疾患、周囲の課題感に囚われすぎない。
 - ・ 最善の利益、社会常識・規律に囚われすぎない。
- ※ (支援者の) 価値観の転換を図るリフレーミング



復習 アセスメントの留意点①

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

(2) ニーズ整理

- ・ 本人の意思表示、客観的状況、支援者や周囲の判断を分けて考える。
(基本は本人の言葉や選好からはじまる。)
- ・ **援助者（自分）の判断の根拠**を可視化、言語化する。

二ーズ整理の留意点

① 「見立て」ができるようになる。

支援者自身が

- a. どのような情報を得て、
- b. どのような解釈をし、
- c. どのような方針をたてるか。

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…
可視化し、整理する

② アタマの中を整理できるようになる。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈
 自分の支援方針

③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

本人の言葉・本人の（深めた）理解からはじめる。
対応から入らない。

BPSモデル??

小括：BPSモデルの成り立ち

- 全人的な理解を目指す精神医学
- 予防と健康増進を目指す公衆衛生学
- 1940年代から医学に通底する概念に
- 1980年頃から医学教育の中心概念に
- 人、疾患、問題を捉えるための方法論
- 目標から実践的な認識論・方法論に

そもそもBPSモデルって??

精神医学の中ではぐくまれたもの

「病状」だけをみてても、その患者さんはよくなりませんよ。っていう考えかた。

B P Sモデルについて

生物-心理-社会モデル Bio-Psycho-Social model

- 生物 = 脳を含む「からだ」 身体、肉体、生理ともいう
- 心理 = 「こころ」 精神ともいえる
- 社会 = その人を取り巻く対人関係と環境

B P Sモデルについて

生物-心理-社会モデル Bio-Psycho-Social model

生じている事態・状況を、生物的要因、
心理的要因、社会的要因の相互作用と
して認識する方法

B P Sモデルについて

ソーシャルワーカーの倫理綱領 (2020年6月2日 改訂)

原理Ⅵ（全人的存在）

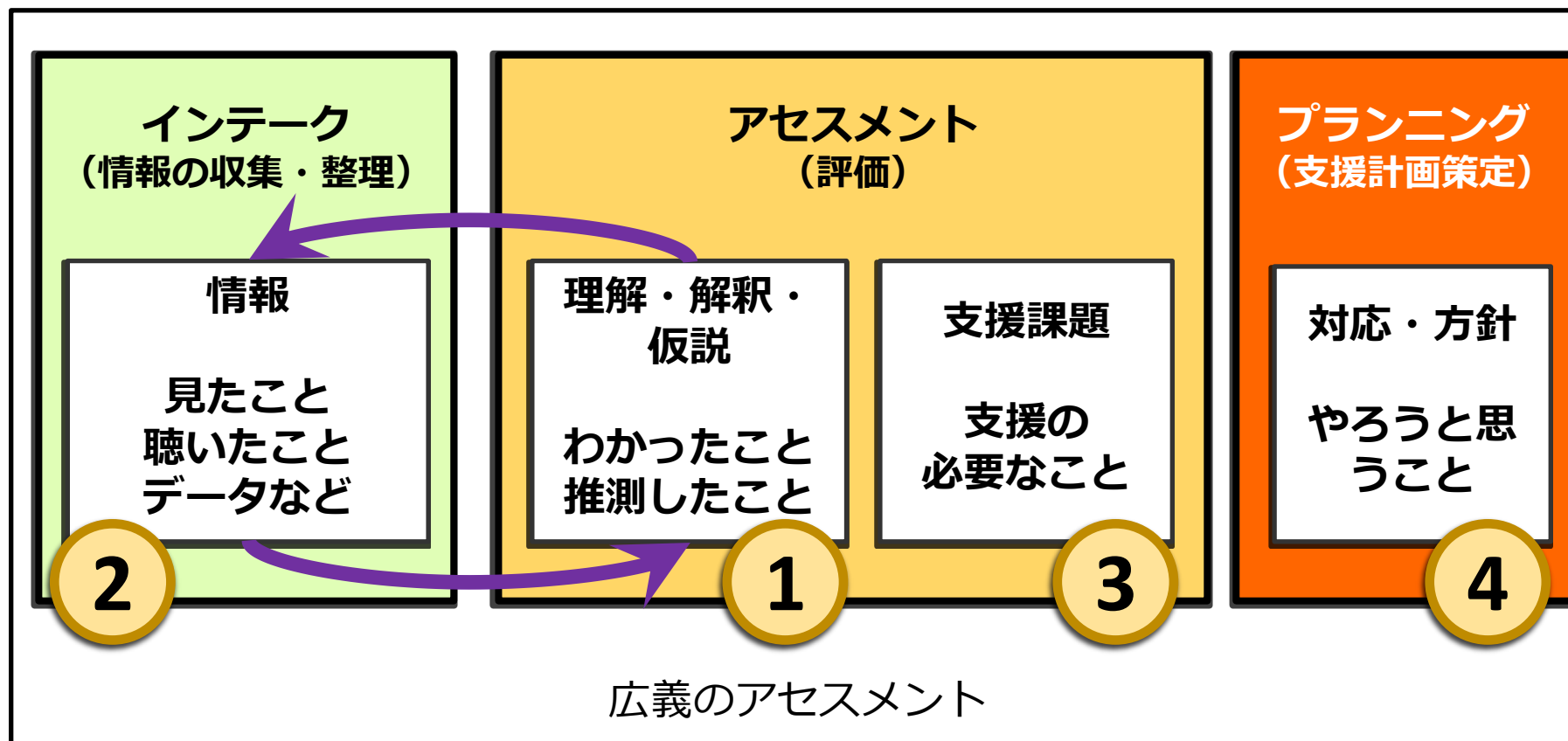
ソーシャルワーカーは、すべての人々を生物的、心理的、社会的、文化的、スピリチュアルな側面からなる全人的な存在として認識する。

ニーズ整理票		アセスメント			プランニング
インタビュー		理解・解釈・仮説 （作成者のとらえたかた、解釈・推測）	理解・解釈・仮説② （専門的アセスメントや他者の解釈・推測）	支援課題 （支援が必要と作成者が思うこと）	対応・方針 （作成者がやろうと思うこと）
情報の整理 （見たこと、聴いたこと、データなど：事実） 本人の表明している 希望・解決したい課題 （作成者の）おさえておきたい情報	生物的事象 心理的事象 社会性・対人関係の特徴				
		本人			
		環境			
今回大づかみに捉えた本人像（100文字程度で要約する）					

※注意事項

- 分類することが大切ではない
- 分類できなこともある
- 「ない」こともあるかも

ニーズ整理の方法（１）



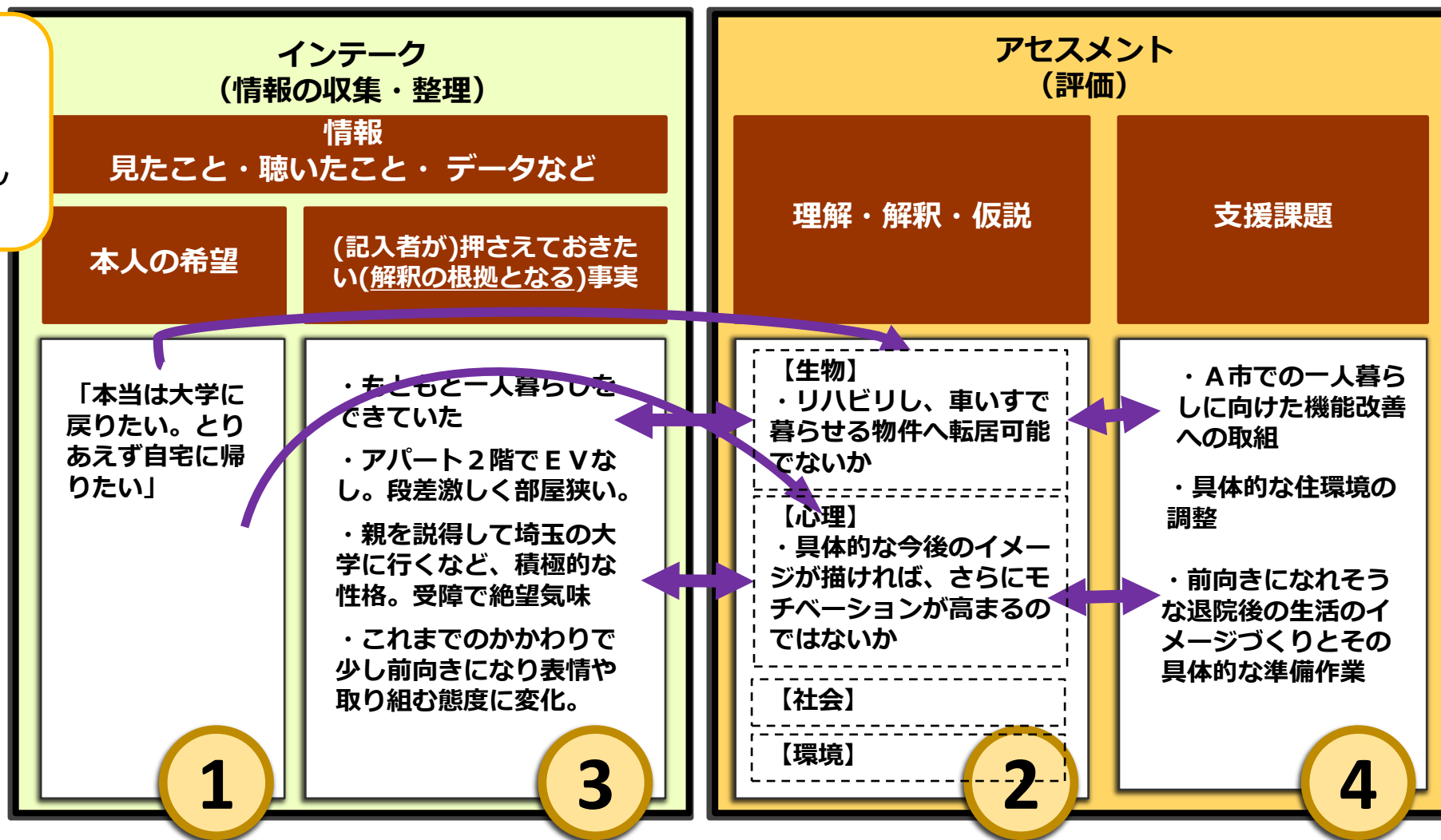
近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変

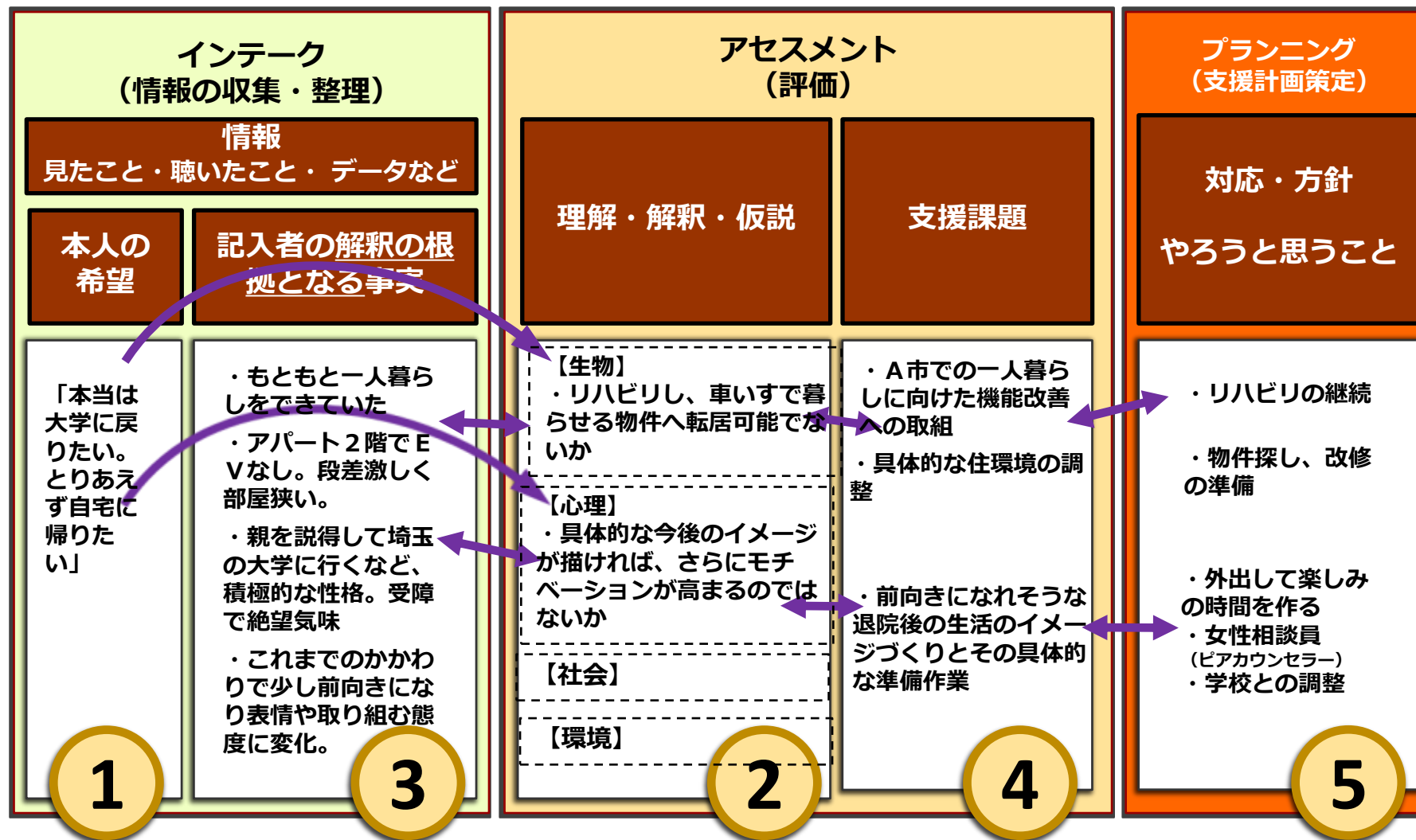
ニーズ整理の方法（2）

テキストP82～

山田あさみさん



ニーズ整理の方法（3）



二一ズ整理の留意点

① 「見立て」ができるようになるろう。

支援者自身が

- a. どのような情報を得て、
- b. どのような解釈をし、
- c. どのような方針をたてるか。

② アタマの中を整理できるようになるろう。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈
 自分の支援方針

③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

本人の言葉・本人の（深めた）理解からはじめる。
対応から入らない。

見立ての順序

① なんで？？ （Why？？）の視点
※まずWhyを繰り返す。

② 偏りがいいのか？の視点
※ B / P / S で見立ててみる

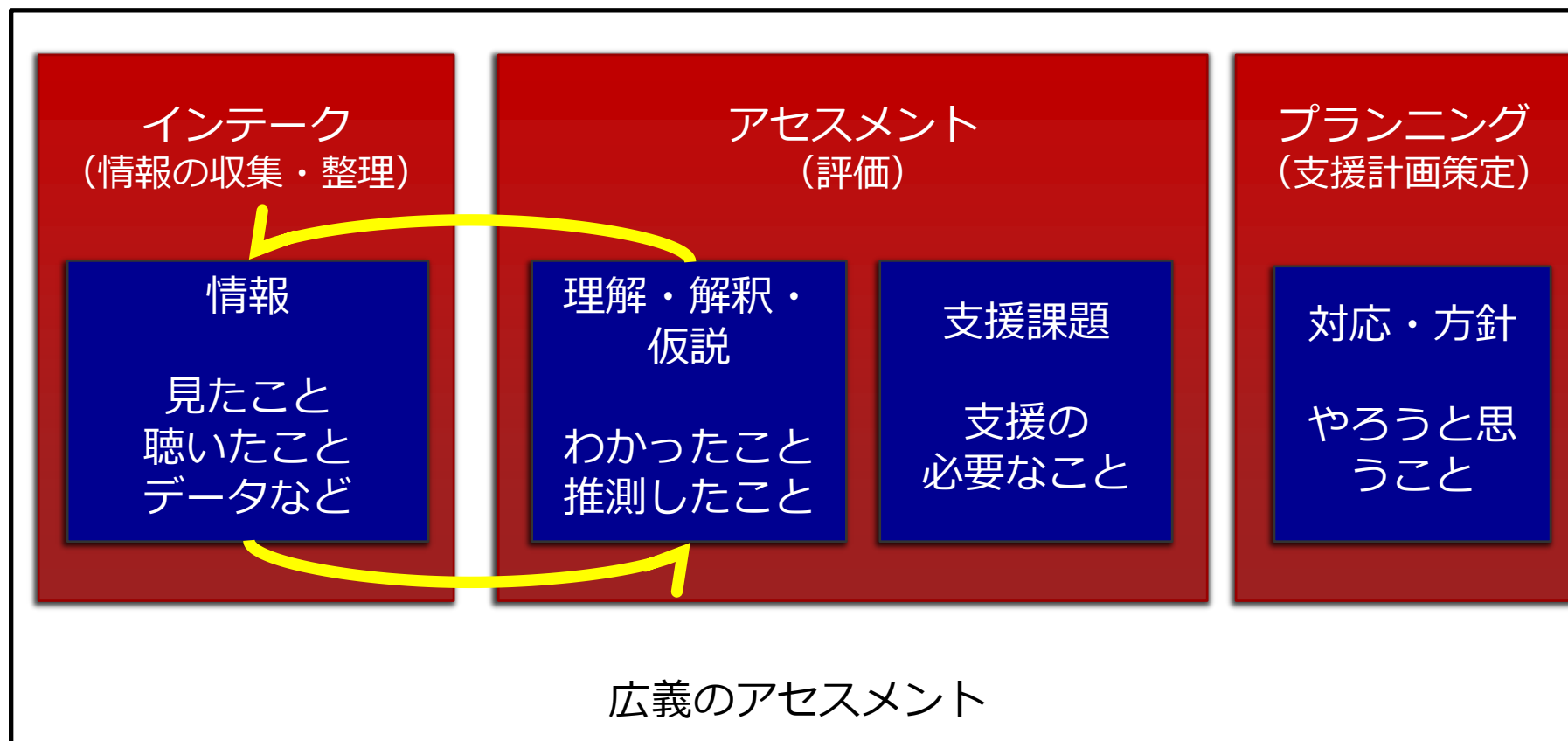
③ どうすれば？ （How）の視点

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…
可視化し、整理する

【休憩】

本日は続けていきますが、演習では一旦休憩。

二一ズ整理



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』

ニーズ整理のポイント

① 「見立て」ができるようになる。

支援者自身が a. どのような情報を得て、b. どのような解釈をし、c. どのような方針をたてるか。

② アタマの中を整理できるようになる。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈
 自分の支援方針

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…可視化し、整理する

③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

対応から入らず、本人の言葉・本人の（深めた）理解からはじめる。

「見立て」のヒント

「黄色のベ●ザブロックください。」

- ・薬を買いに来たのか！（事実の追認）
- ・鼻づまりなのかな？（症状の推測）
- ・風邪？アレルギー？（原因の推測）
- ・つらそうだ（観察）
- ・どれくらいつらいんだろう？（程度の疑問）
- ・病院には行ったのだろうか（治療の疑問）
- ・病院に行ったほうがいいのではないか（治療の疑問）
- ・病院に行く余裕がないのではないか（環境の推測）
- ・まずは症状を抑えたいのではないか（希望の推測）
- ・同様の薬を特売しているのでそちらを勧めよう。

アタマの中で、
何も思わない人
はいない

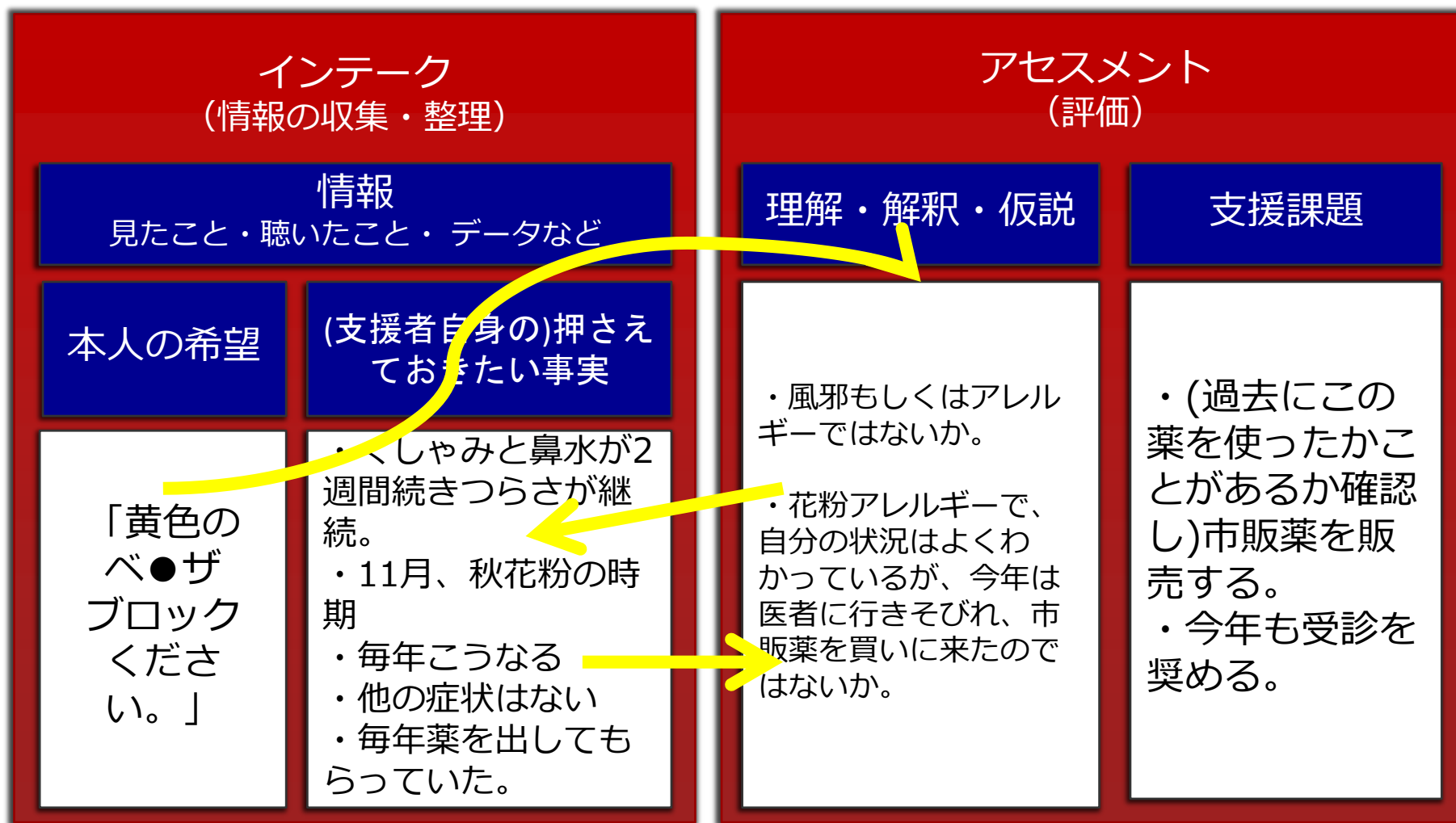
「見立て」のヒント

「黄色のベ●ザブロックください。」

アタマの中で、
何も思わない人
はいない

- ・ 本人の主訴や様々な情報を手掛かりに
→ 根も葉もない推測は削除する。
→ 真実から遠い推測は削除する。
(前提として、そのために必要な情報を入手する)
- ・ 本人のゴールを確かめ(ともに作り)
→ 確かに本人の望んでいることは何なのかをつかむ。
- ・ **そのゴールの達成に必要な推測を続け、
確からしさを高めてゆく(根拠に基づく推測をする)。**

二一ズ整理



ニーズ整理のポイント

① 「見立て」ができるようになる。

支援者自身が a. どのような情報を得て、b. どのような解釈をし、c. どのような方針をたてるか。

② アタマの中を整理できるようになる。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈
 自分の支援方針

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…
可視化し、整理する

③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

対応から入らず、本人の言葉・本人の（深めた）理解からはじめる。

二一ズ整理① 本人の希望をおさえよう

インテーク
(情報の収集・整理)

情報
見たこと・聴いたこと・データなど

本人の希望



もう一度事例を読み込みます。

① 本人の希望を付箋に書き出します(そのままの言葉で)。

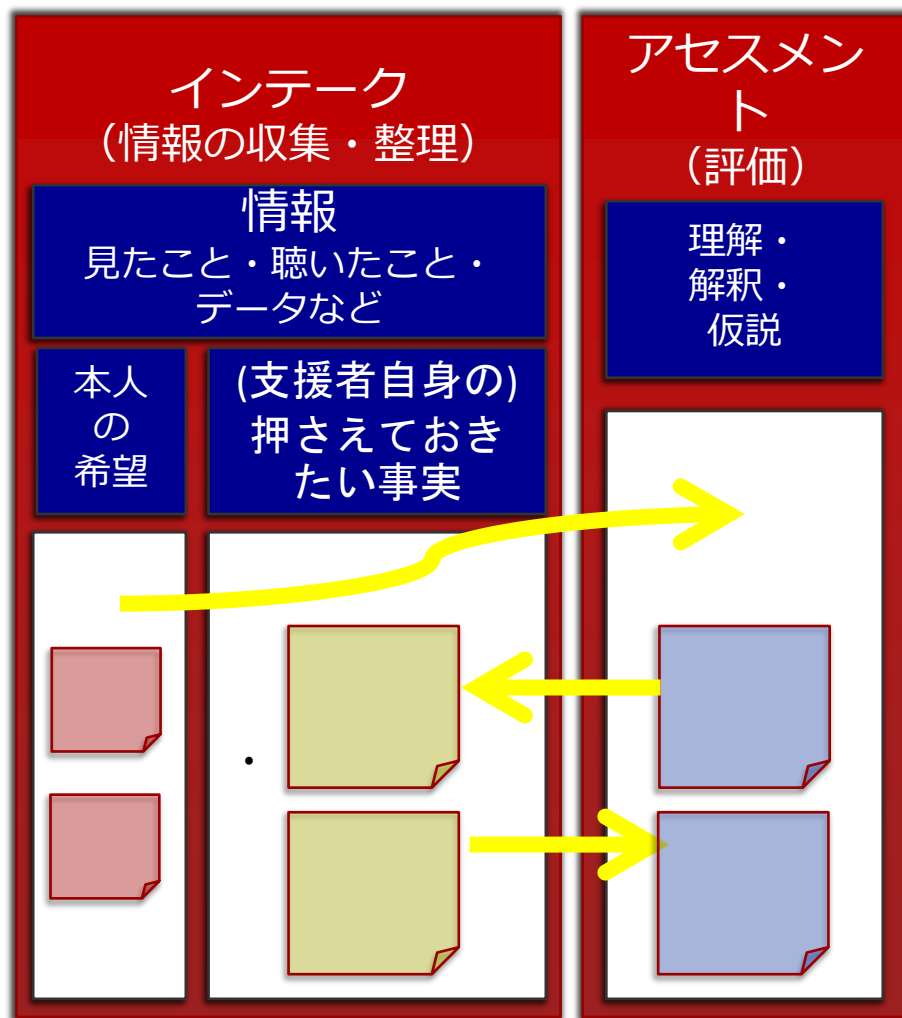
★ 1項目に1枚のふせん

② 説明のあった視点に留意しながら、本人の希望の実現にあたって重要と自分が考えた情報に印をつけます。

【再確認】

ワークシート③ 配布

ニーズ整理② 「見立て」てみよう



アタマの中を可視化します。

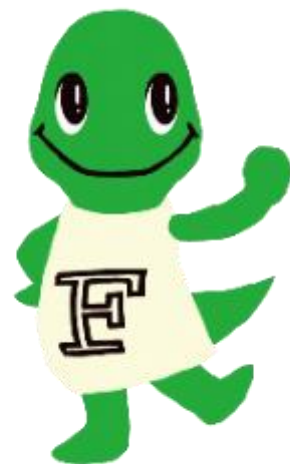
① 本人の表明していること (の実現)について、自分の考えたこととその根拠を整理します。

付箋に箇条書きにしてください。★ 1 項目 1 枚

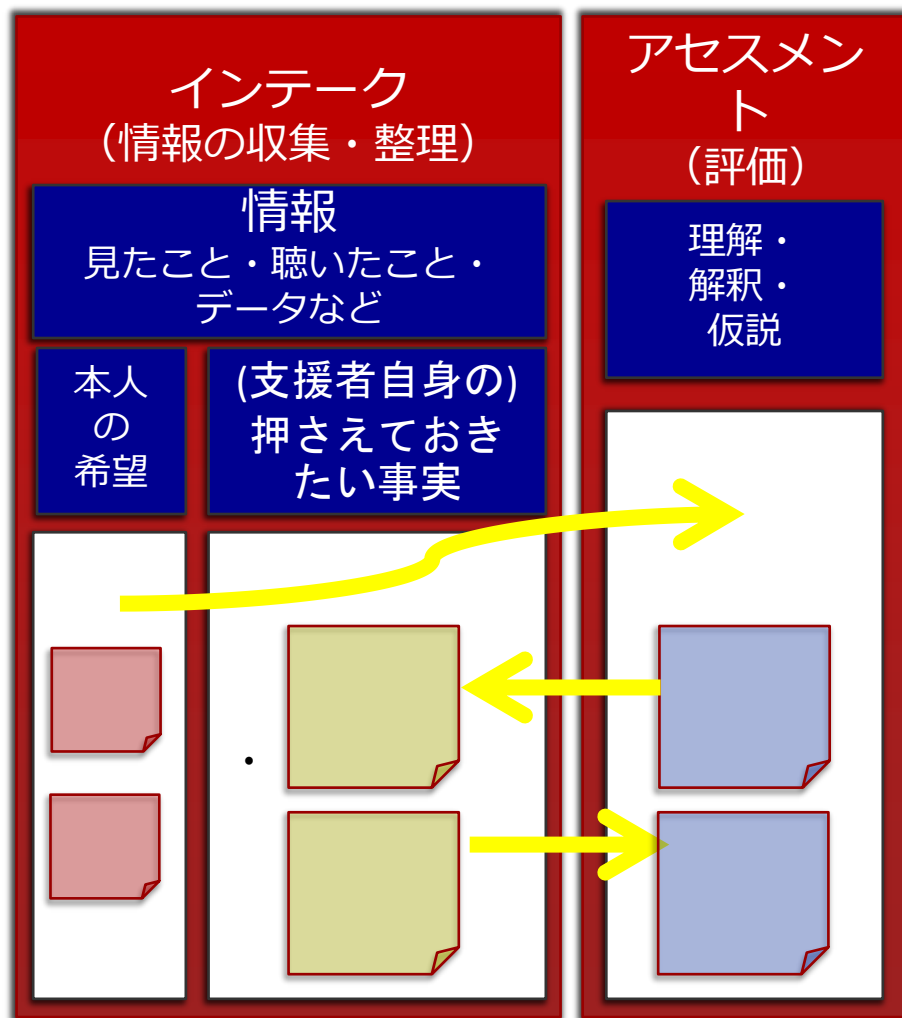
【15分】

【休憩】

本日は続けていきますが、演習では一旦休憩。



ニーズ整理③「見立て」を討議しよう



グループでアタマの中を可視化します。

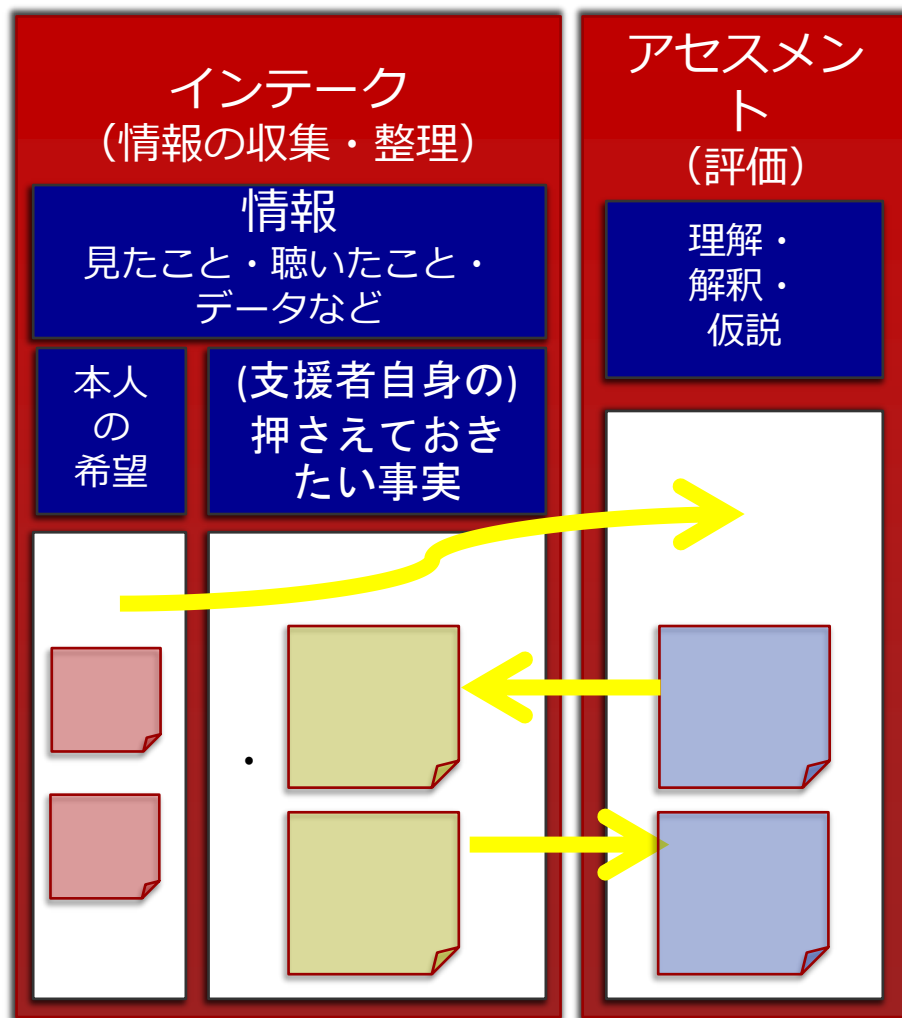
- ① 各自の考え（これまでの作業）を共有します。
- ② グループで討議し、ひとつのニーズ整理票にまとめます。

【30分】

・グランドルール

- ① **端的に**発言する（最長30秒！）。
- ② **積極的に**参加し、**たくさん**発言する。
- ③ 否定的な発言はしない。**受容的な雰囲気**を醸成する。
- ④ 求められたゴール・課題に向けて発言する。
（自分の興味・関心で発言するのではない！）
- ⑤ **多様な意見**が場に出るようにつとめる。
（自分ばかりが発言しないよう留意する。）
- ⑥ **根拠を持って**発言する。
- ⑦ **時間を守る**（ファシリテータが時間管理します）。

ニーズ整理③「見立て」を討議しよう



グループでアタマの中を可視化します。

- ① 各自の考え（これまでの作業）を共有します。
- ② グループで討議し、ひとつのニーズ整理票にまとめます。

【30分】

【休憩】

本日は続けていきますが、演習では一旦休憩。

ニーズ整理③「見立て」を討議しよう

ワークシート3全体を討議します。

- ① 各自の考え（これまでの作業）を共有します。
- ② グループで討議し、ひとつのニーズ整理票にまとめます。

まず最初に、ニーズ整理票の下段にあります
今回大づかみに捉えた本人像をグループでまとめて
グループで一つのニーズ整理票にまとめましょう

※プランニングはあくまでも「方針」にとどめてください。

【60分】

ニーズ整理③「見立て」を討議しよう

理解・解釈・仮説②

- ・専門的アセスメント（今回は記入不要です。）

支援課題

- ・ゴールの達成、夢・希望の実現に向けて、支援が必要と考えること。

プランニング

- ・サービス等利用計画案の援助方針へつながります。

今回大づかみに捉えた本人像

- ・捉えた本人像を、本人らしい言葉で表現します。
- ・週間計画表のサービス提供によって実現する生活の全体像へつながってゆきます。

・グランドルール

- ① **端的に**発言する（最長30秒！）。
- ② **積極的に**参加し、**たくさん**発言する。
- ③ 否定的な発言はしない。**受容的な雰囲気**を醸成する。
- ④ 求められたゴール・課題に向けて発言する。
（自分の興味・関心で発言するのではない！）
- ⑤ **多様な意見**が場に出るようにつとめる。
（自分ばかりが発言しないよう留意する。）
- ⑥ **根拠を持って**発言する。
- ⑦ **時間を守る**（ファシリテータが時間管理します）。

以下にポイントを絞り、端的に説明します。

- ① グループでまとめた本人像
- ② 支援課題
- ③ 特に議論したポイント

【10分】

明日の演習に向けて

ワークシート③（事務局作成のモデル）を配布します。

明日の演習では…

「ワークシート③」を使用して演習をおこないます

① グループで作成したワークシート③を使用する

② 配布されたワークシート③を使用する

どちらのシートを使用するかをグループごとに話し合い
決定してください。

【5分】

リフレクション

演習を振り返り、気づきを可視化しよう。

振り返りシート

本科目の獲得目標と事後評価

【確認しましょう】

受講後の今、
自分はどのような
段階・様子ですか？

初任者研修 振り返り・評価シート（科目別）

氏名： _____

科目名	演習 1 ケアマネジメントプロセスに関する講義及び演習 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点 と技術 I （初期相談からアセスメントまで）	受講日	
-----	---	-----	--

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

〔事前評価〕① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

〔事後評価〕① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	評価		気づき等
	受講前	受講後	
① 相談支援の目的に立脚したケアマネジメントプロセス毎の実践ができる。			
② 相談支援（ケアマネジメント）の基本的な視点に立脚したケアマネジメントプロセス毎の実践ができる。			
③-1 ケアマネジメントプロセス毎の留意点を踏まえた関係性の構築に関する実践ができる。			
③-2 ケアマネジメントプロセス毎の留意点を踏まえたアセスメントに関する実践ができる。			
④ グループ討議に主体的・積極的に参加できる。			
⑤ チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基礎的技術に基づいた実践ができる。			

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
←できる できない→

おつかれさまでした。また、あした！

気をつけてお帰りください。

